

志民委員会 N・Vision プロジェクト 2014 年度 事業報告

◎活動テーマ…アクションプランの作成・一部実践

- ・2019 年の開港 150 周年に向けて、市民目線からのアクションプランを作成・発表する
- ・アクションプランの一部実践として、やすらぎ堤の利活用提案する「まちなかアウトドア」を実施する

【まちなかアウトドア】 (2014 年度事業費：1,831,818 円)

開催日・会場 2014/8/23-24・やすらぎ堤（NST 前）両岸，信濃川

内 容 <水面利用>

- ウェイクボード演技
- カヌー体験（参加者 135 名）
- ウォーターバルーン体験（参加者 208 名）

<やすらぎ堤利用>

- アウトドア用品展示（テント・ハンモック・グッズ展示など）
- 屋外ステージ演奏（ゲスト：WUJA BIN BIN 他）
- ものづくり体験（缶バッチ，フラワーボンボンづくり等）
- 健幸体験（フラダンス，ヨガ，日本酒講習会，シティトレイル）
- 防災啓発展示（新潟地震パネル展，津波啓発パネル展）
- クリーン活動（新潟グリーンバード協力）
- 市民参加ワークショップ VISIONTALK
（参加者 40 名。テントで食を囲みながら新潟の夢を語りあう。）
- 光の演出（ミニ・プロジェクションマッピング，球体イルミネーション）

後 援 国交省北陸地方整備局（信濃川下流河川事務所，新潟港湾・空港整備事務所 他）
協力企業等 NST，アウトドアメーカー（WEST，Snowpeak，CAPTAINSTAG 他），
新潟グリーンバード（クリーン活動），ケント大学

概 要 新潟市の中心部を流れる信濃川・やすらぎ堤空間の魅力や可能性を掘り起こすとともに、実際に自然や水辺に触れてその魅力を五感で感じてもらい、新潟の豊かな自然や郷土への愛着を育む。
2019 年の新潟港開港 150 周年に向けて、市民・企業・行政の連携協働によるまちづくりへの機運醸成を図る。

⇒ やすらぎ堤の利活用について信濃川下流河川事務所との連携協議を開始

2014/10/ 2 意見交換会
10/11-12 ミズベリング大阪会議へ合同参加
12/11 意見交換会
2015/1/31 ミズベリングやすらぎ堤(新潟市・信下事務所の共催)へ参加
2/ 5 第 1 回やすらぎ堤デザイン会議へ参加

【第3回・新潟人間図書館】

(2014年度事業費：29,716円)

開催日・会場 2014/10/18・クロスパルにいがた（交流ホール）

参加者 54名（志民委員会会員12名，一般42名）

ゲスト 石塚千賀子氏（仏系服飾企業リテールマネージャー）
今井美穂氏（地域活性化モデル）
江口歩氏（新潟のお笑い集団NAMARA代表）
遠藤麻理氏（フリーアナウンサー）

概要 私たちが誇る「新潟」で活動している魅力ある「人(ゲスト)」を「本」に見立てて、その「人(ゲスト)」の様々な情報・歴史・知見・想いなどを参加者ととともに共有し、語り合う参加型イベント。

アクションプランづくりセミナー「プロジェクトをプロデュースすること」

(2014年度事業費：50,540円)

開催日・会場：2014/12/22 新潟市役所白山浦庁舎6号棟6-405会議室

参加者 35名（志民委員会会員26名，市役所・一般9名）

講師 古田秘馬氏（株式会社umari代表）
ゲスト 藤井亮助氏（株式会社クックパッド社長室経営企画）

概要 アクションプラン発表後、そのプランを実践していくために必要なポイントを、民間企業でプロジェクトを実践している講師・ゲストから実際の事例紹介をいただき、今後の活動に繋げる志民委員会会員向けのセミナー。

【新潟・休日の過ごし方レシピづくり作戦会議】（主催：クックパッド(株) / 志民委員会 / 新潟市）

(2014年度事業費：新潟市30,000円)

開催日・会場 2015/2/17・市民活動支援センター

参加者 35名（志民委員会会員10名，一般25名）

講師 谷里穂氏（クックパッド株式会社）
藤井亮助氏（クックパッド株式会社）

概要 クックパッド社のWebサイト「Holiday」を活用し、新潟のオススメ情報をグループワークで投稿・発信し、新潟の魅力の再発見と新潟への愛着を育む参加型イベント。

「ACTION!～新潟を創造する～」 志民委員会アクションプラン作成・発表フォーラム

(2014年度事業費：志民委 1,019,070 円 / 新潟市 339,380 円)

開催日・会場：2015/3/21 新潟日報メディアシップ「日報ホール」

来場者 120名

ゲスト 国見昭仁氏（株式会社電通プランナー）
木戸寛孝氏（株式会社umari コンセプター）
篠田 昭氏（新潟市長）

講評 大熊 孝氏（志民委員会相談役）

概要

第1部 『新潟の未来への扉～NiiGATA NEXTDOOR』 アクションプラン発表
コメンテーター：木戸寛孝氏、篠田 昭新潟市長
ナビゲーター：横山 裕氏（志民委員会世話人代表）

市民の視点から将来ビジョンを考える「What's NiiGATA キャンペーン」を展開してきたこれまで2年間の活動成果を踏まえて、新潟港開港150周年となる2019年に向けてまとめたアクションプランを「新潟の未来を開く4つの扉」と称して発表。

第2部 トークセッション 『VisionTalk』
スピーカー：国見昭仁氏、木戸寛孝氏、篠田 昭新潟市長
コーディネーター：木山 光氏（志民委員会世話人代表）

志民委員会が組み上げたアクションプランを踏まえて、新潟をより魅力的に、より元気な街にするために、今、何をすべきか、また、開港150周年となる2019年に向けてどのような行動が必要か、民間企業人、行政、市民のそれぞれの目線から意見を交わすフリートークを展開。

【What's NiiGATA モニュメント】 (2014 年度事業費 : 998,228 円)

2013/10～2013/12	やすらぎ堤左岸 (ホテルオークラ付近)
2013/12～2014/ 6	新潟駅南口広場
2014/ 6～2014/12	県立スポーツ公園 (デンカビッグスワン前)
2014/12～2015/ 3	新潟駅南口広場
2015/ 4～2015/11(予定)	信濃川左岸緑地 (みなとぴあ付近)

※2015/11 以降の移設先は未定

概 要 インパクトの強い巨大モニュメントにより「あなたにとって新潟って?」と問いかけて、一人ひとりに新潟のイメージや将来の姿 (ビジョン) を考えてもらい、魅力ある新潟のまちづくりへの共感をつくりだすことを狙いとして設置。

【What's NiiGATA オブジェ】 (2014 年度事業費 : 3,150,810 円 ※新潟市負担)

2014/4～ 新潟市芸術文化会館前の広場に設置 (所管 : 文化政策課)

概 要 文化芸術施策の発信・PR を目的とする新潟市と What's NiiGATA の認知度向上を図る市民委員会の相互協力・連携事業として、新潟市の文化芸術振興の中心地である芸術文化会館前へ What's NiiGATA デザインを活用したアートオブジェを設置。